

経済学部の特徴である  
少人数演習の段階的な  
体系が高く評価されま  
した。

# 経済学部の取り組みが 大学教育推進プログラムに 採択されました！

文部科学省・日本学術振興会が2009年度に募集した、大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム（大学における教育の質保証の取組の高度化）に、このたび経済学部の取組計画が採択されました。この大学教育推進プログラムは、大学・短期大学・高等専門学校から申請された各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、日本の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。

## 4年一貫の演習と論文指導が育む学士力

2段階サイクルの少人数演習、経済学の体系的教育、  
的確な能力判定による、プラクティカル・エコノミストの育成

2009年10月～2012年3月

本取組は、本学部が実施してきた2段階サイクルの演習カリキュラムの各段階で、教育成果の的確なモニタリングと評価を保証することで、本学部の人材養成目標である「プラクティカル・エコノミスト」（以下「PE」と略記）の着実な育成をめざすものです。PEとは、社会が直面する課題を的確に捉え、それを経済学の素養を生かして分析し、解決の方途を他者との協働により複眼的な構想力をもって立案しうる人材を指します。その育成の到達点は、PEが習得すべき6つのスキルと1つのアビリティ（6S+1A）によって測られます。

1st スキル：情報を的確かつ効率的に収集するスキル

2nd スキル：自分の主張を他者にわかりやすく提示するプレゼンテーション・スキル

3rd スキル：社会の変化と課題を正確に把握する問題発見と課題把握のスキル

4th スキル：経済学の基礎的素養を生かして問題を分析するスキル

5th スキル：分析結果を正確かつ体系的に叙述する論文執筆のスキル

6th スキル：他者の多様な観点を吸収するためのコミュニケーション・スキル



多様な見方を総合して新しい問題解決の方途を複眼的に構想するアビリティ

# 4年一貫の演習と論文指導が育む学士力 —「6S + 1A」の内容と評価—

プラクティカル・エコノミスト (PE)

PE指標による評価

